

Take
free

ご自由に
お持ちください。

地域とともに地域医療を守る

With

厚生連情報

We protect community medicine together with the community.



JA AICHI KOUSEIREN INFORMATION



第十六次中期計画、始動！

03 特集 1

01 JAグループ愛知へのお礼メッセージ

10 Our Professionals
海南病院の医療情報部

07 東日本大震災から10年
震災から10年 あの日を未来のためにつなぐ。

特集 2

11 ホットトピックス
ホットな取り組みをご紹介します

13 公開講座

14 事業実績・今月の巡回健診予定表

15 健康ひろば！
「健康診断」で自分の健康と向き合おう

地域とともに地域医療を守る

JA愛知厚生連



心温まる応援を ありがとうございました。

JA愛知厚生連は、「地域とともに地域医療を守る」という使命のもと、
職員一丸となり感染者の入院受入れ・発熱外来の設置など、
最前線で新型コロナウイルス感染症と戦っています。

この度、JAグループ愛知の仲間の皆さまより、
心温まるメッセージと美味しい農畜産物の応援品を贈っていただき※、
職員一同、心強く思うとともに大変励まされました。

これからも、JA愛知厚生連は、地域医療を守ってまいります。
たくさんの応援ありがとうございました。

※2021年2月15日～3月8日にかけて全職員約8,100名に配布しました。



第十六次中期計画、始動！

本会を取り巻く環境は少子高齢化、国家財政の悪化、景気の低迷、新型コロナウイルスの感染拡大により厳しい社会情勢のなかにあります。

国は、地域医療構想の実現を目指しており、地域のあるべき医療が問われています。

私たちは、会全体で地域医療を守るため、時代の変化に対応し、地域に必要とされる医療・保健・福祉を提供していきます。

本会をめぐる経営環境と課題

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1 少子高齢化・人口減少社会の進展 | 4 診療報酬の改定 |
| 2 国家財政の悪化 | 5 医師確保の困難 |
| 3 地域医療構想の進展 | 6 新型コロナウイルス感染症の拡大 |

地域とともに、 地域医療を守る

基本方針

- 1 協同組合医療を担うJA愛知厚生連の職員として、各事業所の置かれた地域の特性について理解し、職員一人ひとりが「会全体で地域医療を守る」という意識を高め、地域医療を提供します。
- 2 大規模病院は、地域医療の中心的役割を果たすため、高度急性期・急性期医療の充実を図ります。
- 3 中規模病院は、その地域にふさわしいバランスの取れた医療提供体制の構築に努め、地域の急性期・回復期・慢性期医療を提供します。
- 4 組合員および地域住民の健康維持・増進に貢献するため、保健サービスを提供します。
- 5 地域全体で高齢者を支える社会の構築を目指し、介護サービスを提供します。
- 6 人材が持つ多様な能力を最大限発揮できるよう、健康で生活と仕事の調和のとれた働き方改革に取り組みます。
- 7 将来にわたって地域医療を守るために、安定的な経営基盤を築きます。
- 8 内部統制の充実を図り、地域からの持続的な信頼確保に努めます。

JA愛知厚生連の病院

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------|
| 1 安城更生病院749床
安城市：西三河南部西医療圏 | 5 渥美病院316床
田原市：東三河南部医療圏 |
| 2 江南厚生病院684床
江南市：尾張北部医療圏 | 6 稲沢厚生病院250床
稲沢市：尾張西部医療圏 |
| 3 海南病院540床
弥富市：海部医療圏 | 7 足助病院148床
豊田市：西三河北部医療圏 |
| 4 豊田厚生病院606床
豊田市：西三河北部医療圏 | 8 知多厚生病院199床
美浜町：知多半島医療圏 |

■ 本会の大規模病院と中規模病院が担う医療機能



大規模病院

進化する医療。

事業方針

地域医療の中心的役割を果たすため、高度医療機器の整備等により高度急性期・急性期医療の充実を図ります。

大規模病院の取り組み

- 大型施設整備①
- 高度医療機器の整備②
- 海南病院と江南厚生病院のがんゲノム医療連携病院の指定取得
(安城更生病院・豊田厚生病院は指定済)



①安城更生病院は、R3.6月高精度放射線治療棟、12月新病棟の稼働開始、その後既存棟改修を実施します！

②手術支援ロボットを導入します！
安城(R3年度)
江南・豊田(R4年度)
※海南H26年導入済



急性期医療の高度化を図ります。

- 医療の質向上と安全の推進
- 地域包括ケアシステムへの取り組みと地域連携の強化
- 災害医療への対応

大規模・中規模両方の取り組み

中規模病院

寄り添う医療。

事業方針

その地域にふさわしいバランスの取れた医療提供体制の構築に努め、規模の適正化および病床機能転換を模索しながら、地域の急性期・回復期・慢性期医療を提供します。

中規模病院の取り組み

- 規模の適正化および病床機能転換を実施③
- 地域住民のニーズに応える診療体制の充実
- 地域包括ケア病棟の充実

地域ニーズに応える医療を提供します。

③病床機能転換

休床/40床 (療養病棟41床、地域包括ケア病棟)	6F	NEW
医療療養病棟/15床 介護療養病棟/39床	5F	地域包括ケア/54床
急性期病棟/54床	4F	急性期病棟/54床
急性期病棟/54床	3F	急性期病棟/54床
地域包括ケア/42床	2F	地域包括ケア/31床
感染症/6床	1F	感染症/6床

～令和2年7月259床

令和2年8月～199床

※稲沢厚生病院 R3年度実施予定

目指すべき すがた

地域医療構想の進展により、地域のあるべき医療が問われています。また、新型コロナウイルスの感染拡大により、私たちの生活は大きく変化しました。私たちは、地域医療を守るため、時代の変化に対応し、地域に必要とされる医療・保健・福祉を提供していきます。

- 1 診療機能の充実
- 2 前方連携の強化
- 3 広報活動の充実

第十六次中期計画

保健事業

保健事業をめぐる情勢と課題

〈国が目指していること〉

誰もがより長く元気で活躍できる社会の実現をするため
健康寿命の延伸

〈受診者ニーズは多様化〉

高度な検査の実施・利便性の向上(女性専用フロア)など

保健事業の取り組み

病院 病院併設型として機能を発揮

生活習慣病の予防および疾病の早期発見に努め、受診者の幅広いニーズに応えることにより、地域住民の健康維持・増進に貢献します。

- 専門ドックの充実
- 異常発見時の医療への連携
- 予防医療センター(安城更生病院)①・②



予防医療センターが入る新棟



予防医療センター内観(女性フロア完備)

本部 JAが実施する健康管理活動の支援

JA組合員とその家族の健康寿命の延伸をサポートするため、JA健康管理活動の充実を図ります。

- ナッジ理論を活用した受診勧奨
- 健康教育活動「予防教室」の参加しやすい新たなコースを開始③



臨時総会開催、全議案原案どおり可決される。
3月30日、JAあいちビルにおいて臨時総会が開催され、
上程された議案のすべてが可決承認されました。

高齢福祉事業

高齢福祉事業をめぐる情勢と課題

2040年には高齢者人口ピーク、85歳以上人口が急速に増加

高齢福祉事業の取り組み

高齢者が住み慣れた地域で生活できるよう、地域に必要な介護サービスを提供します。

- 療養環境の向上を目指すために、あつみの郷の老朽化した施設の改修の実施
- 将来にわたって安定的に介護職員を確保するために、外国人労働力の確保を図る④
- 介護現場の負担軽減を図るために、ロボット・センサー・ICTの活用を研究



附帯事業

〈看護師養成事業〉

看護師養成事業をめぐる情勢と課題

地域包括ケアシステムの進展により就業場所が病院から在宅・介護施設へ拡大、実践能力の高い看護師を育成するため新カリキュラム開始

看護師養成事業の取り組み

- 新カリキュラムを検討します。
- デジタル教材・ICTの活用
- 主体的に学べる教育方法
- 基礎教育4年制化の動向を研究



〈保健資材事業〉

保健資材事業をめぐる情勢と課題

配置家庭薬のニーズ縮小・保健指導員の確保困難

保健資材事業の取り組み

- 令和3年度末に事業廃止
- 組合員の健康増進への支援は継続

第1号議案 第十六次中期計画の設定について
第2号議案 第74年度(令和3年度)事業計画の設定について
第3号議案 令和3年度における役員の報酬額の決定について
附帯決議案

新型コロナウイルスとJA愛知厚生連

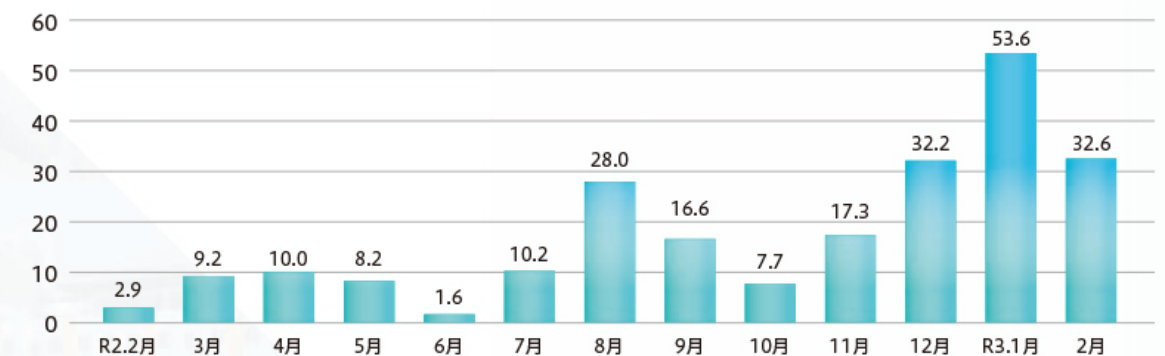


我々は、発熱外来を設置したり、多くの感染者の入院を受け入れるなど、

まさに地域の中核病院として、役割を果たしてきました。

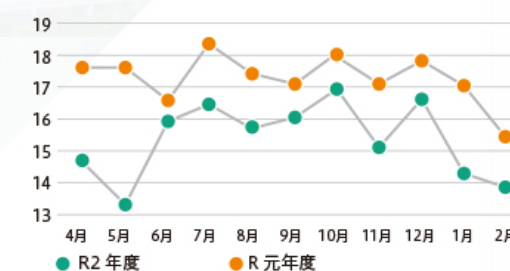
地域に必要とされる医療を提供していくために、職員一人ひとりの力を結集し、地域医療を守り続けます。

■ 本会の新型コロナウイルス陽性1日当たり入院患者数(単位:人)

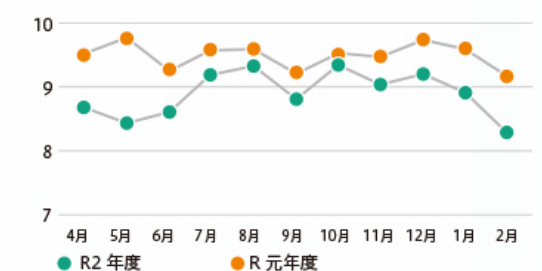


新型コロナウイルス感染拡大の影響により、5月は大幅に患者数や手術件数などが減少しましたが、現在は回復傾向にあります。救急車搬送台数は、コロナ禍において外出機会が減り、交通事故などの外傷患者や高齢者の骨折などが減少したことにより、救急車搬送の全体数が減っています。

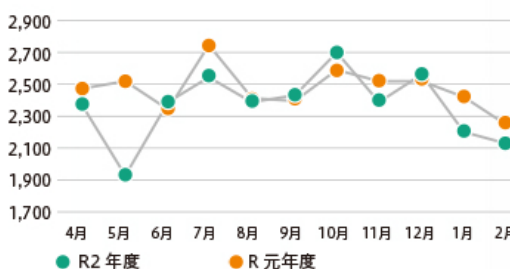
■ 外来患者数(単位:万人)



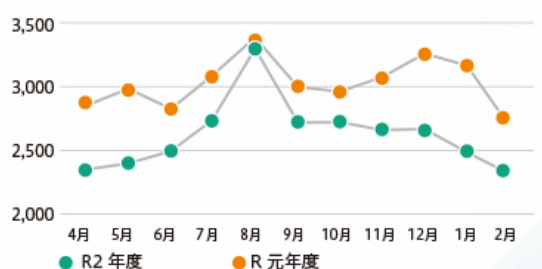
■ 入院患者数(単位:万人)



■ 手術件数(件)



■ 救急車搬送台数(件)





特集2 東日本大震災から10年

震災から10年

＊あの日を未来のためにつなぐ。

災害医療に対して、わたしたちに多くの教訓と課題を突き付けた未曾有の災害「東日本大震災」。あれから10年が経ちます。

わたしたちはこの10年の間、次に経験を活かすために数々の取り組みを行ってきました。

今も、被災地支援や防災への取り組み、後世へ語り継いでいくプロジェクトなどさまざまな取り組みを行っています。



被災地へ派遣された本会の医療チームの体験や報告が、数々の取り組みにつながっています。

—— 本会支援実績（一部抜粋） ——

1 DMAT（災害派遣医療チーム）・医療救護班の活動

DMAT

安城更生病院	石巻赤十字病院 等	3月11日～14日 2チーム
豊田厚生病院	仙台医療センター 等	3月12日～16日 1チーム

医療救護班

安城更生病院	石巻赤十字病院	3月25日～30日
	福島県いわき市	4月5日～9日
海南病院	福島県いわき市	3月27日～4月1日
	宮城県南三陸町	4月8日～12日
豊田厚生病院	宮城県南三陸町	3月27日～31日
	福島県いわき市	4月23日～27日
足助病院	福島県いわき市	4月23日～27日
知多厚生病院	宮城県南三陸町	4月14日～18日

ディーマット

DMAT（Disaster Medical Assistance Team）とは…

医師、看護師、業務調整員（医療職及び事務職員）で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期（おおむね48時間以内）から活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームです。

2 義援金・物資・支援関係

- JAグループ愛知として1,000万円（うち本会は100万円負担）の義援金
- 被災厚生連（岩手県・福島県・茨城県）に、全厚連として900万円（うち本会は30万円負担）の災害見舞金
- 福島県にJAグループ愛知として300万円相当（うち本会は60万円相当）の物資支援
- 福島県に本会病院備蓄品から273万円相当の物資支援
- JAグループ愛知支援隊を結成し現地の復興支援活動（瓦礫撤去・清掃等）を実施 など

10年間のなかで始まった防災への取り組みとプロジェクト

1 災害医療体制の整備・強化（全事業所）

安否確認システムの導入やBCP・アクションカードなどのマニュアルの作成・近隣機関との連携強化・ハードの整備など、それぞれの地域特性に合わせた災害体制を整備、大規模災害を想定した訓練を定期的実施しています。



2 被災者と救護者を体験したDMAT隊員による後進育成（本部）

東日本大震災当日、出張先の宮城県石巻赤十字病院で被災した秀野企画課長（当時、安城更生病院DMAT隊員）。現在は、壮絶な被災経験そして災害拠点病院である石巻赤十字病院の超急性期災害医療をリアルタイムで経験・支援した内容を、医療機関・学校・企業など延べ3,500名に講演活動を行い、防災意識を高める活動を継続しています。



3 ASUKE気防健究会の発足（足助病院）

足助地域では、土砂災害等の自然災害発生が懸念されており、地域住民の健康・命・財産を守るために、防災士の育成に力を入れています。防災や気象について学び、地域住民の自助・共助を啓発し、病院や消防等の公助を組み合わせることで地域全体の防災力を高めています。
構成：医師・看護師・診療放射線技師・栄養士・理学療法士・薬剤師・事務・気象予報士による防災士10名

他にも、さまざまな防災への取り組みが実施され、被災地への支援も続けられています。

東日本大震災から10年

「奇跡の花」のリレー

「アイリンブループロジェクト」

海南病院は、2015年2月から被災地に咲いた「奇跡の花」を全国に広げる「アイリンブループロジェクト」に協力しています。

震災のあった2011年3月11日、宮城県石巻市の沿岸部で佐藤愛梨ちゃん(当時6歳)ら園児5人らが乗った送迎バスが津波に襲われました。数年後、現場に真っ白なフランスギクが咲きました。「この花の種を各地で育てて、命の大切さを世界に広めたい」と現地の人たちによってプロジェクトがスタートしました。

震災当時、被災地で医療支援をした山本病院長(現 名誉院長)は「機会があれば支援を続けたい」と考え、プロジェクトの一環で映画を作る話を知り、個人的に寄付をしました。これをきっかけにプロジェクト事務局から「宮城県外の各県にも活動を広げたい」と相談を受け、2017年3月、現地から取り寄せた種から育てた苗を病院屋上庭園に植え、同年4月には弥富市と共催で防災フォーラムを開催。さらに海部津島地域の自治体や地元ライオンズクラブなどの協力で同年秋から学校や自治体など50か所以上に苗を植えました。このプロジェクトは現在、15都道府県70か所に広がっています。

海拔ゼロメートル地帯が広がる海部津島地域一帯は1959(昭和34)年の伊勢湾台風で甚大な被害を受けており、同病院は県の災害拠点病院に指定されています。

山本名誉院長は「伊勢湾台風によって防災意識は高い地域だが、次世代に天災の恐ろしさを、伝えていく必要がある。学校などで子どもが「奇跡の花」を植えるプロジェクトを通して、命の大切さや自分の身は自分で守る防災意識を高めてほしい」という想いから活動が続けています。

震災から10年の節目となる、2021年3月下旬に「石巻南浜津波復興祈念公園」が開園しました。プロジェクトでは、この公園の花壇に各地で育てられたフランスギク1万輪が植えられました。コロナ禍で活動が制約されるなか、プロジェクトは新たな企画が進行中で、海南病院も協力する予定です。



▲海南病院入口にある花壇の様子



▲大治南小学校で講演する山本病院長(現 名誉院長)



▲2017年12月病院植栽時の様子
左から弥富造園佐藤さん・渡邊事務部長(現 地域担当部長)・山本病院長(現 名誉院長)

Op
ur
P
rofessionals

頼れる安心、頼られる誇り。
地域医療を守る
プロフェッショナルたち。

職 場 紹 介

海南病院

医療情報部



最先端の呼吸で
病院を支える 精鋭部署

～システムは呼吸と同じで止められない～

主 業 務

情報システム係



医療情報システムに係わるハード面・ソフト面の運用保守と診療データを用いて統計・集計処理などを行っています。

診療情報管理係



診療録の点検、管理、カルテ開示、退院統計処理などを担っています。

海南病院は、2020年1月に医療情報システム(電子カルテ・院内ネットワーク・各部門システムなど)を更新しました。

医療情報部は、情報システム係と診療情報管理係の2つの係で構成されています。

各部署の職員と連携を取り、安全・安心な医療を提供できるよう支えるのが医療情報部の責務です。



弥富市前ヶ須町南本田396番地
TEL 0567-65-2511(代表)

「HIM」という言葉を知っていますか?

HIMは「Health Information Manager」の略であり、つまり私たち診療情報管理士のことです。私たちは日々、一連の診療行為に必要な情報に不備がないか確認・管理し、その情報が必要であればすぐに情報提供ができるよう努めております。そのために忙しいとは思いつつも医師に督促の電話をしたり、5名で協力しながら診療情報のパトロールをしております!



HOT TOPICS

JA愛知厚生連のホットな
取り組みをご紹介します。

全病院

3月上旬

医療従事者ワクチン接種が始まりました。

本会8病院へ医療従事者用ワクチンが到着しました。ワクチンは感染リスクが高い業務に就いている職員から優先して接種しています。本会病院は基本型接種施設・連携型接種施設として、自病院の職員以外にも地域の医療従事者・地域住民にも接種を行う予定で、ワクチンが届き次第、順次実施していきます。



▲ファイザーのワクチンを注射器に入れる様子



▲ワクチン接種の様子(知多厚生病院)



▲マイナス75度で保管できるフリーザーと奥村病院長(海南病院)

看護
専門学校

3月上旬

コロナ禍を乗り越え、看護の現場へ。 看護専門学校で卒業式が行われました。

3月上旬、更生看護専門学校(安城市)愛北看護専門学校(江南市)加茂看護専門学校(豊田市)の3年生113人が、卒業式を迎えました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、臨地実習が中止となるなど、困難な状況が続きましたが、オンライン等で工夫を凝らしながら学業に励んだ1年となりました。卒業生たちは、JA愛知厚生連の職員として地域医療を守り、患者さんの拠りどころとなる看護師を目指していくことを誓い合いました。



▲加茂看護専門学校



▲更生看護専門学校



▲愛北看護専門学校

足助病院

2月13日

サプライズ花火「WE LOVE とよた応援打ち上げ花火」が 打ちあげられました。

2月13日、豊田市主催による花火が足助地区の夜空に打ちあげられました。これは、新型コロナウイルスの早期収束を願うとともに、足助病院の入院患者への励み、医療従事者等への感謝の思いを込めて、『花火発祥の地!?』である足助地区での花火打ち上げ計画がされたものです。当日は病院から見える美しい花火に入院患者・医療従事者が魅了されました。温かいエールをありがとうございました。



▲足助病院から見た花火の様子

渥美病院

2月20日

J A愛知みなみより野菜・鉢物の応援品をいただきました。

2月20日、JA愛知みなみより合併20周年記念事業として田原産の野菜・鉢物を贈呈いただきました。JA愛知みなみで行われた贈呈式では、鈴木組合長から渥美病院の長谷病院長に目録が贈られ、「コロナ禍でも頑張っている医療・介護現場へ応援の意味を込めました」とお言葉をいただきました。いただいた農産物は、院内の病院食等に活用させていただきます。温かい応援をありがとうございました。



▲いただいた農産物で作った入院食



キャベツ、ブロッコリー、トマト、ミニトマト、
イチゴ、鉢物をいただきました

INFORMATION

感染対策強化中です。
皆さん安心して
ご利用ください。

稲沢厚生病院



人間ドック

ご好評のオプションがお安くなりました！

軽度認知症障害のリスクを判定 脳梗塞・心筋梗塞発症リスクを判定

MCIスクリーニング検査 LOXインデックス
29,700円→19,800円(税込) 19,800円→13,200円(税込)

連絡先 TEL.0587-97-5533

受付時間 月曜日～金曜日 10:00～15:00

▶ <https://www.inazawa.jaakosei.or.jp/checkup/>
人間ドック・健康診断のページはこちら



2 控えていませんか？

定期受診

人間ドック

二次健診

予防接種

過度な受診控えは健康上のリスクを高めて
しまう可能性があります。コロナ禍でも健診
や持病の治療、お子さまの予防接種などの
健康管理は重要です。各施設では感染防止
対策のガイドライン等に基づき、感染対策に
取り組んでいます。



▲検温の様子(安城更生病院)



▲陰圧テント(稲沢厚生病院)

公開講座

4月

一般の方を対象とした、医療や福祉に関する情報です。みなさんお気軽にご参加ください。
お申し込み方法については、各事業所にお問い合わせください。

開催日/時間	テーマ	場所/講師	備考
① 4月6日(火) 11:00	脳いきいき倶楽部	足助病院 リハビリテーション室	申込必要、 参加費300円
② 4月8日(木) 11:00	ロコモ予防体操倶楽部	足助病院 リハビリテーション室	申込必要、 参加費300円
③ 4月14日(水) 10:00	俳句サロン	足助病院 外部講師	申込必要、 参加費無料
④ 4月20日(火) 11:00	脳いきいき倶楽部	足助病院 リハビリテーション室	申込必要、 参加費300円
⑤ 4月22日(木) 11:00	ロコモ予防体操倶楽部	足助病院 リハビリテーション室	申込必要、 参加費300円
⑥ 4月22日(木) 10:30	男の料理教室 Online	足助病院 栄養科	申込必要、Onlineの 場合は参加費無料 会場参加は要相談

お問い合わせ ①～⑥ 足助病院 TEL.0565-62-1211

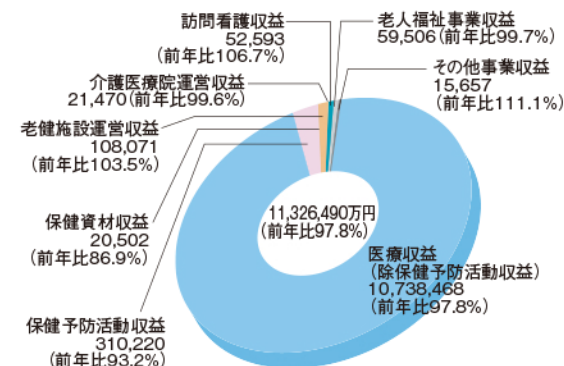
※公開講座は新型コロナウイルスの感染状況により中止の場合があります。
また実施する講座は感染予防に取り組みなから実施します。

一般の方も
ご参加いただけます

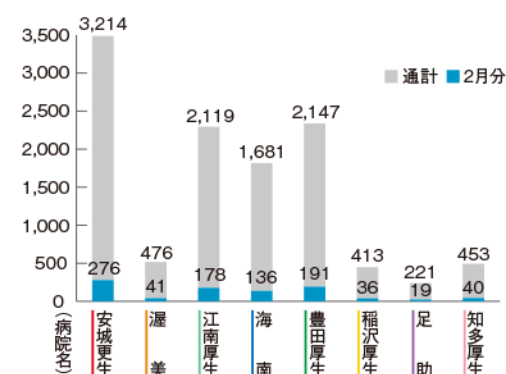


事業実績

■事業実績
(単位:万円)



■病院別診療収入
(単位:千円)



■病院別診療人員(単位:人)

病院名(ベッド数)	区分	受診人員	
		2月	通計
安城更生(749)	外来	33,418	400,002
	入院	18,640	222,811
渥美(316)	外来	10,389	122,031
	入院	6,946	78,594
江南厚生(684)	外来	25,683	313,076
	入院	15,276	186,742
海南(540)	外来	19,852	259,965
	入院	12,922	160,456
豊田厚生(606)	外来	24,774	290,738
	入院	15,194	171,095
稲沢厚生(300)	外来	10,626	125,681
	入院	5,961	64,509
足助(148)	外来	4,592	54,473
	入院	3,721	42,026
知多厚生(199)	外来	10,357	121,383
	入院	5,049	59,125
JAあいち健診センター	外来	47	399
	入院	139,738	1,687,748
合計(3,542)		83,709	985,358

画像のご提供者様未表示について

3月号の表紙につきまして、ご提供者様の表示をしておりませんでしたので、訂正させていただきます。3月号表紙は、矢作新報社
貞島容子様より写真のご提供をいただきました。ご迷惑をおかけ
しました関係者の方々に深くお詫び申し上げます。



今月の巡回健診予定表

J Aあいち健診センターの健診車が各J Aを巡回し、J A組合員の
健診を行っています。ご希望の方は各J A窓口にご相談ください。

4/8(木)

J Aあいち尾東(長久手)

4/27(火)

J Aなごや(守山東)

4/19(月)

J Aなごや(猪子石)
J Aあいち尾東(長久手)

4/30(金)

J Aなごや(高針)

4/26(月)

J Aなごや(味鋺)



各施設を利用される皆様へ

わたしたちは、患者さんに安心して受診いただくために、感染対策
に取り組んでいます。



▲病棟立入受付(渥美病院)



▲飛沫防止パーテーション(知多厚生病院)

感染予防のため、下記のご協力をお願い
します。

- マスクの着用
- 咳エチケット
- 手洗い・手指消毒
- 検温



3つの咳エチケット



健康ひろば! 「健康診断」

あなたの未来を守る

年に1度の健診で、自分の健康と向き合おう



健康診断の役割は、まだ自覚症状がない段階で病気を早期発見することや、将来なりやすい病気のリスクを確認し、改善につなげることです。

日本人の死因は、1位「がん」、2位「心疾患」、4位「脳血管疾患」(3位は老衰)です。特に心疾患や脳血管疾患は、高血圧症や脂質異常症、糖尿病など生活習慣病が起因になることが多く、早期発見のために健康診断が重要な役割となります。

[死因]令和元年人口動態統計より

1 今、健康だから大丈夫…それ本当?

生活習慣病は初期段階では自覚症状が無いことが特徴とされています。何の症状も無いから大丈夫と思わず、元気であると感じていても、定期的に健康チェック(健康診断)を行うことが重要です。

2 自分に合う健康診断を選択しよう!

健診といっても様々な種類があります。オプションも豊富なため、自身に合わせたものを選択することで、個性のある健診コースにカスタマイズできます。“がん検診も含めた健診”は必ず含め、選択に迷う場合は、健診機関に相談してみましょう。

3 健康診断を受けたら、比較しよう!

毎年の健診結果を比較して、正常値内でも数値が徐々に上がっている(下がっている)項目など、少しの変化にも着目し、日々の生活習慣を改善することが重要です。

「厚生連情報」が「With 厚生連情報」へ新しくなりました

リニューアル!

Renewal

「With」のコンセプト

- ・JAとともに
- ・行政とともに
- ・地域住民とともに
- ・職員とともに
- ・あなたとともに

JA愛知厚生連の「地域とともに地域医療を守る」という基本姿勢のほか、皆様とともに歩んでいく、という意味を込めて「With」という愛称にしました。今後も皆さまとともにあるJA愛知厚生連として、楽しんで読んでいただける情報を発信してまいります。

